

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年11月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672200120
法 人 名	KEITOKU GROUP株式会社
事 業 所 名	グループホーム かいもん
所 在 地	鹿児島県指宿市開聞十町1330番地1 (電 話) 0993-27-2110
自己評価作成日	令和2年10月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	N P O 法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年11月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

- ・ご本人様の残存能力を活かした作業を、本人の役割として自信を持って頂く事を基本としており、家庭的な雰囲気を損なわないよう笑顔で過ごせる環境作りに努力している。
- ・基本理念唱和にて、一日の生活が始まり、利用者様が孤立するがないよう常にスタッフが声かけをしており、自由に過ごされている。
- ・利用者様とご家族様の関係を大切にしており、面会を通じて会える喜びを少しでも感じて頂けるよう両者の橋渡しをして安心して頂いている。
- ・少しでも、利用者様、ご家族様のお役に立てたらという思いで、スタッフ一同、試行錯誤を重ねながら支援をしている。

- ・当事業所は、指宿市開聞支所近くにあり、同法人の有料老人ホーム・障がい者グループホームに隣接して建てられ、利便性の良い地域である。
- ・現在は、新型コロナウィルス感染症対策の為、開設以来取り組んできた地域行事への参加やボランティア受け入れ等が自粛となり、地域との交流が困難な状況である。運営推進会議も書面開催となっている。委員に直接資料を届けて説明や意見交換を行なうなど、少ない機会をとらえて事業所や認知症への理解を得る努力を行っている。
- ・家族との外出や面会も制限されているが、家族の要望を受けた窓越し面会の実施や毎月メールや写真で利用者の生活状況を報告する等、家族との関係が途切れないよう取り組んでいる。
- ・管理者を始め職員全員が、利用者の自由な暮らしを支援し利用者に合わせて動くことをケアの基本として支援に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員で意見を出し合い、理念を作り上げた。朝の申し送り時に、全員で唱和を行ない、理念を頭に入れ、ご利用者の対応を行なっている。	事業所独自の理念をホールや事務所等に掲示し、申し送りの時に唱和し、職員会議や日常ケアの中で振り返り、職員間で共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ご利用者の高齢化に伴い、地域行事への参加は難しくなってきているが、なるべく参加できるようにはしている。（稚児行列見学やほぜ祭り相撲見学等）現在はコロナウイルス感染予防のため行事への参加は中止している。	町内会に加入して、定期的に家族や職員から地域の情報を得ている。コロナ禍で今年はほぜ祭り、敬老会も自粛。法人の行事も行っていない。家族の面会は窓越しで、携帯を利用したり必要に応じてメールや電話で対応している。ボランティアも自粛。職場体験は計画はあるが延期している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	面会に来られたご家族や、運営推進会議において、認知症の理解を深め、支援の方法を知って頂いているが、地域に向けてとなるとできてはいない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催しており、事業所の取り組み等を報告したり、そこで意見や要望を聞き、サービス向上に活かしている。	4月から運営推進会は書面で開催し、2ヶ月毎に各委員に書類を持参して説明を行ない意見を聞いている。委員の意見をサービス向上に活かすとともに、認知症への理解を得るよう働きかけている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に市町村担当者、区長、ご利用者に出席して頂き、密に連携を図れる様、協力関係を築いている。現状、コロナウィルス感染予防のために書面会議にてやり取りしている。	支所の担当者とは、窓口に出向いて報告・相談や運営推進会議の書類持参時に意見交換で連携を図り、協力関係を築いている。市の研修会や会議は参加して協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会にて、身体拘束について学ぶ機会を設け、また実践に活かしている。	指針があり、身体拘束委員会を3ヶ月毎に、研修会は年2回実施している。社内研修でも事例検討等で職員の理解を深め実践に繋げている。コロナ感染症対策で外部からの侵入を防止するため玄関を施錠しているが、外出希望の時は外気浴したり、中庭の散歩を一緒に行い、行動を制限しないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	社内研修にて、虐待について、誤った考え方をしていないか、内容を見直し知識の統一を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会にて学ぶ機会を設け、職員の理解が深まる様努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は、利用契約、同意書等書面に基づき充分な説明を行ない、ご家族と話した内容については職員に説明があり、情報共有を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族の面会がある方は、その都度、状況報告を行ない、遠方のご家族には電話やメールにて報告し、意見や要望をお聞きしている。	利用者からは日常の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からはメールや電話、訪問があつた時は窓越しに話している。遠方の家族にはメールに写真を添付して送付している。意見や要望は運営に反映させてい	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、職員会議にて職員の意見や提案、要望等を聞き、ケアや業務に反映している。	ホーム長・管理者は、日々の業務の中で気軽に意見等を言える雰囲気づくりに努めている。申送りやケア会議、職員会議で活発に意見が出て、業務改善やケアに反映している。個別相談は、ホーム長・管理者が受け、必要時は面談もしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	代表者自ら率先して現場に入っている事もあり、職員の努力や勤務状況等、直接目にしているため、把握し対応に努めている。		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	毎月、勉強会を実施しており、ケアの向上に努めている。勉強会後は、報告書の提出を義務づけている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	現状、交流する機会は設けていないので、今後、交流の機会を作っていくたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	本人、ご家族と話し合う時間を設け、本人の不安や要望を聞き、安心していただけるよう努めている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	相談や見学時には、困っていることや不安・要望を伺い、思いを受け止め、質問があれば納得がいくよう説明をしている。利用前であってもいつでも相談に応じられることも伝えている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	家族が困難に思っていた事や要望に対して、まずできるサービスを伝えできる限り支援していく方針を伝えている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	毎日の関わりの中で、一緒にテレビを見たり、隣りに座り昔の話を聞いたりと、ご利用者と共にしながら学ぶことも多く、共に支え合う関係が築かれている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に安心して頂く事はもちろんのこと、ご家族も支援される側ではなく職員と一緒に本人を支えていくことが出来るよう情報交換・提供をしている。又、面会時等でも近況を報告し、ご家族と共に話を出来る関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	遠方者とは電話で話す機会があり、馴染みの人との関係が途切れないと支援している。	コロナ禍にあり、家族・友人との窓越しの面会や電話等のやり取りを支援している。家族には毎月メールでの報告に写真を添付し、日常の生活や身体状況を理解してもらって関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中、入居者同士でお話ししたり、職員が話し掛けたりしている。出来ない事を支え合える様努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相手に合わせし、連絡・相談があれば支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	本人、ご家族と話ながら、本人の希望を最優先している。	日常の生活の中で、特に夜間や入浴介助時に本人が思い等を話されることが多く、仕草や行動に変化があれば職員から声掛けして聞いている。困難な場合は家族の情報やこれまでのかかわりの中から推測し本人の思いに添えるように支援している。	
24		<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	本人やご家族から生活歴を伺い、情報収集したうえで把握に努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	入居者が出来る事をして頂き、毎日の状態を見守り、声掛けし、特記事項など、介護記録に表に記入し現状の把握に努めている。		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	その都度、話し合いを行ない、状態変化があった場合は、すぐに見直しを実施している。	本人・家族の希望を事前に把握し、モニタリング時に個々の職員から提出される文書や発言を入れて介護計画を作成している。モニタリングは毎月実施し、状況変化等の必要時はすぐに見直しており、変化が少ない場合は6ヶ月毎に計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	日々の様子や変化を、個人の介護記録表に記入し情報共有に活かしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	要望に応じて医療機関への通院等、柔軟な支援を行っている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	地域住民の方が声を掛けて下さったり、お友達や家族の面会などから充実した暮らしが継続出来るよう努めている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	ご本人や家族の意向を踏まえ、希望の医療機関を継続したり、夜間帯に対応できる医療機関を勧めたりと、柔軟に対応している。	契約時に、本人・家族にかかりつけ医の希望を確認している。協力医療機関と、かかりつけ医は24時間医療連携体制が整っている。歯科は訪問診療である。家族の協力も得ており、適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	往診前に看護師が来られるため、事前に相談する事ができ、往診時には、スムーズに対応して頂いている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	主治医の指示に従い協力し合っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいく</p>	重度化や終末期について、必要になった場合は、主治医・ご家族とカンファレンスを開催し対応していく。	契約時に重度化の場合の対応について説明し、同意書をもらっている。状況に応じて段階的に、特別養護老人ホーム・有料老人ホーム等の選択肢についての説明を行っている。重度化の場合は、医師から家族に説明し家族の意向を確認して支援に取り組んでいる。看取り介護の事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変や事故発生時の応急処等、緊急時対応マニュアルにそって対応できるよう努めている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	社内研修にて、非常災害の勉強会を行ない防災に関して学ぶ機会を設けてる。	年2回の避難訓練を消防署立ち合いで昼夜想定で実施し、法人内の職員の協力体制がある。今年度は、コロナ感染症防止の為、自主訓練を行い消防署の立ち合いは中止となっている。非常用の備蓄は、3日分の水・調味料・米・缶詰・冷凍食品を確保している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	守秘義務や個人情報の取扱いについて勉強会に参加し理解を深め、人格を尊重した声かけや呼び方に努めている。	勉強会を実施し、さん付けでの呼びかけや個々に合わせた言葉遣いで誇りやプライバシー等を損ねない対応をしている。入浴介助は希望があれば同性介助をするなど、羞恥心への配慮も行っている。	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	ご利用者が選択できる声かけや日々の生活から、ご利用者の好み等を知ることに努めている。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	個々のペースを大切にしながら支援している。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	定期的に、美容師に訪問していただいている。また、季節や場所に適した衣類等のアドバイスをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	テレビを消して入居者さんの間に職員が入り一緒に食事をとっている。	献立はホーム長が作成し、調理担当者が作っている。材料は旬の物を使っている。近所や家族からの野菜の差し入れもある。刻み食、とろみ食、形態にも気配りしている。誕生日メニュー やクリスマス・年越しそば・おせち料理など、行事食を提供し、楽しい食事になっている。お盆拭きや台拭きなど、利用者と一緒に食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各利用者の状態に合わせた、食事形態を提供し、食事の摂取量を常に記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、義歯の方には義歯の手入れも考慮しながら、なるべく自力で口腔ケアができるようにお手伝いをするという感じで、口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄のパターンを把握し、その方に合ったトイレの声掛けをしている。出来るだけトイレで排泄し気持ちよく過ごして頂けるよう支援している。	排泄チェック表でパターンを把握し、日中はトイレでの排泄を基本に支援し、個々に合った誘導等で排泄の失敗を減らせるよう取り組んでいる。パウチ交換の介助も実施している。夜間は、ポータブルトイレ使用者もいる。排泄用品の選択にも気配りして自立に向けた支援を行っている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表で排便状況を把握し、主治医・看護師と連携をとり合い、個々にあった排便コントロールを行なっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	その日の体調に注意しながら、入浴の支援を行い、また、ストーマの方もいるので、パウチ交換日に合わせ入浴日を変更したりと、個々に応じた入浴を支援している。	週3回午前中の入浴を基本に支援しており、体調により清拭も行っている。汚染時はトイレでの陰洗やシャワー浴で気持ち良く過ごせるように配慮している。入浴を嫌がる場合は、無理強いせず翌日に入ってもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は個々に違うので、習慣に合わせて休んで頂いている。ゆっくりテレビを見て過ごされる方もおり、気持ちよく休まれるよう寝具や気温に気を付けています。日中もお部屋で自由に横になっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報をいつでも確認できるように各ユニットで保管している。薬事変更等ある場合、往診ノートに記入し全体へ周知している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	中庭へ日向ぼっこへ出たり、テーブル拭き、タオルたたみ等、出来ることはして頂くようしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご家族に外出の協力を依頼し、出来るだけ一人ひとりの希望に添った外出支援を行っている。現状、コロナウイルス感染予防のため通院以外の外出は中止している。	日常的に中庭での散歩やベンチでの日光浴を行っている。コロナ感染症対策で初詣・駐車場の桜の花見はできたが、夏祭り・敬老会・クリスマス会・ほぜ祭り参加は自粛し、室内レクレーション活動に切り替えている。家族との外出も受診以外はしていない。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の管理が難しい方が多いため、ご家族管理の方がほとんどであるが、買い物の時、希望があれば購入できるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご利用者から電話依頼がある時は、すぐに連絡できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	目の前には、ご利用者に馴染みある雄大な開聞岳があり、テラスや中庭にて、いつでも眺めることができ、桜や紅葉と季節を感じる事ができる。	リビングは中庭に面して明るく、天窓があり窓の開閉をして換気を行っている。ソファでゆっくりとくつろぐことができる。テラスから中庭にスロープがある。壁には利用者の季節感のある作品やぬり絵が飾ってある。椅子の配置は利用者の相性を考慮して決めるなど、居心地よく過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル、椅子の配置をその都度見直し、ご利用者が落ち着いて過ごせる空間作りを行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なじみの調度品は自由に持込み可能であることを事前にお伝えして、在宅時の生活により近づけるように努めている。写真や好きな物を飾り、プライベートスペースとして居心地が良くなるようしている。	居室には、ベッド・タンス・エアコンがあり、寝具はリースである。利用者の好みや必要に応じて、テレビや衣装ケース・毛布を持ち込み、遺影や家族の写真・塗り絵等の作品で本人が安心して過ごせる部屋作りをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の力量に応じて安全に自立した生活が送れるよう家具の配置や個人の車イスの置き場所にも配慮している。		

V アウトカム項目

			1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られて いる。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)		2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目 : 28)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
			2 少しづつ増えている
		<input type="radio"/>	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない